

## 予算決算委員会

予算・決算の審査は、総務・文教環境・地域福祉・産業建設の各分科会に分かれ、詳細な審査を行いました。その後、予算決算委員会の全体会においては、各分科会から審査の経過と結果の報告を受け、審査を行いました。

### 総務分科会



9月14日

議案第63号 令和5年度鈴鹿市一般会計補正予算(第4号)

### 高齢者の特殊詐欺被害を防止

#### ○防犯事業費 40万円

**【概要】** 高齢者の特殊詐欺被害を防止するため、特殊詐欺被害防止機能付き電話機または周辺機器の設置費用の一部を助成するもの。

**質疑** 特殊詐欺被害防止機能付き電話機または周辺機器とはどのような機器か。

**答弁** 公益財団法人全国防犯協会連合会が認定している特殊詐欺被害防止機器で、特殊詐欺を未然に防止するために、電話の着信時に警告音声を発する機能を有し、かつ通話中に自動的に通話内容を録音する機能を有している機器のこと。具体的には、電話機自体に機能が付いているものもあれば、電話機とモジュラージャックの間に取り付ける機器もある。



特殊詐欺被害防止機器

### 文教環境分科会



9月13日  
(午前)



9月13日  
(午後)

議案第63号 令和5年度鈴鹿市一般会計補正予算(第4号)

### 民間プールで水泳授業を実施

#### ○教育活動費等／水泳授業委託事業費 466万4,000円

**【概要】** 小学校2校のプール設備に不具合が生じたことにより、自校での水泳授業の実施が困難となったことから、外部に委託するもの。

**質疑** 牧田小学校の全学年と庄野小学校の4年生から6年生は民間のプールを借りて水泳授業を行うということだが、どのようなスケジュールで授業を行うのか。

**答弁** 使用する民間のプールは屋内プールであることから、季節や天候に左右されないため、10月から授業を開始することを考えている。

**質疑** 水難事故防止のためということであるが、着衣水泳は予定しているのか。

**答弁** 民間のプールであり、他の利用者のことも考慮して、着衣水泳は考えていない。水難事故から身を守るために、スイミングスクールのコーチから背浮きなどの指導を行ってもらうことを予定している。